

平成24年度 新入社員教育研修会

平成24年4月12日 東京屋外広告ディスプレイ健康保険会館にて新入社員教育研修会が開催されました。

《社会人基礎講座》

講師：マネジメントサポートグループ 稲田千絵

テーマ：『社会人のビジネスマナー』

挨拶の姿勢から名刺の受け渡し、電話の対応などビジネスの基礎を2時間に渡る体験実習を通して学びました。緊張した面持ちと慣れない手つきで名刺交換する参加者が印象的でした。

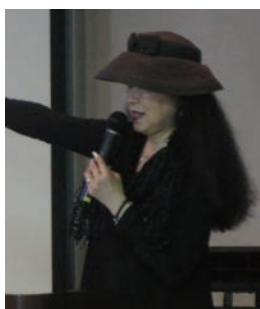
《デザイン講座 1部》

講師：(株)イルミナティ 代表取締役

デザイナー／プロデューサー 仁木洋子

テーマ：『夢と感動を演出する空間デザイン』

夢と感動を演出する空間デザインをテーマに、世界展開をした実例や、6年前に12名で始め、2011年には、アーティスト15名の参加を得るまでになった『ライティング・オブジェ』など自身の活動も合わせながら、空間をデザインする上での考え方、感動を伝える上でのフィロソフィーについてご講演を頂きました。



《デザイン講座 2部》

講師：(株)丹青社 CS事業部

第1制作統括部 制作3部 部長 堀内秀治

テーマ：上海万博博覧会2010 日本産業館 成功の裏側

上海万博博覧会2010 日本産業館(テーマ:日本の創るよい暮らし)にまつわるエピソードや、中国上海でのリアルな出来事や仕事の回し方など実体験を踏まえご公演頂きました。



多くの日本企業、諸団体が参加した日本産業館の成功の裏側にある 準備～調整～実施～閉館までに実感した、中国での仕事の

進め方について以下教訓をいただきました。

- 1、『人を見たら泥棒と思え』…信用は禁物、信頼できる人へお願いし、常に自身で確認が必要。何事にも疑ってかかるということ。
- 2、『郷に入っては郷に従え』…中国で仕事をするには、中国文化、中国人のことを理解することが重要である。日本人同士の感覚は、非常識と思え。
- 3、『北国と太陽 を思い出せ』…怒りながら教えても逆効果である。笑顔で向き合うが指示は力強く。
- 4、『好きこそもの上手なれ』…料理や言葉はもちろん、中国を好きになること、意識を変える事が大切。

このプロジェクトでは2007年6月より設計部門が参画し、翌2008年展示技術ディレクターとして業務に携わってこられた3年間の、さまざまな思い出、中国側企業、協会、諸官庁団体との打合せ、交渉の苦労話を伺いました。又、開催してからの問題も数多くなど……。

また、最後にかかわった関係者と交わした合言葉も印象的でした。

その言葉とは 『2015年 イタリアであおう』。

次回2015年イタリアで開催される万博での再会を約束し大成功したからこそ交わすことが出来、味わえることが出来た、感動的な言葉を最後に頂き、長期に渡ったプロジェクトの重みを痛感した次第です。



《パネルディスカッション》

研修の最後に、組合員企業の先輩社員がパネラーとなり、パネルディスカッションを開催しました。業務の悩みや将来のビジョンについて、たくさんの質問、意見交換がされました。

研修に参加された新入社員の皆様にも今回の研修で、厚いメッセージが届いたのではないかと思います。また、少しでも早くこのような体験や経験を語れるように励んでいってください。

広報委員 (株)フジヤ 大類憲司